

◇アジア・オセアニアオフィス活動報告◇

IFRS 財団評議員会議の開催

IFRS 財団アジア・オセアニアオフィス
ディレクター 高橋真人

1. はじめに

2023年3月、IFRS 財団の評議員会議が6年ぶりに東京で開催され、エルッキ・リーカネン評議員会議長、各評議員及びIFRS 財団の主要メンバーが来日した。リーカネン議長らは評議員会議の前後に開催された多くの関連イベント・会合にも出席し、岸田文雄内閣総理大臣、鈴木俊一財務大臣兼金融担当大臣、西村康稔経済産業大臣とも面談した。以下、その概要を報告する。なお、本稿はIFRS 財団としての公式報告文書ではないこと、文中意見にわたる部分は筆者の個人的見解であることを予めお断りする。

2. 来日したIFRS 財団の主要メンバー

今回来日した主要メンバーは、エルッキ・リーカネン評議員会議長(2019年2月以来4年ぶり)、アンドレアス・バーコウ国際会計基準審議会(IASB)議長(2022年5月以来10か月ぶり)、リンダ・メゾンハッターIASB副議長(就任後初)、ニリ・シャーIASB エグゼクティブ・テクニカル・ディレクター(2019年11月以来4年ぶり)、エマニュエル・ファベール国際サステナビリティ基準審議会(ISSB)議長(2022年10月以来5か月ぶり)、スー・ロイドISSB副議長(2019年11月以来4年ぶり)、リー・ホワイト財団エグゼクティブ・ディレクター(事務局長、2019年2月以来4年ぶり)、ジョナサン・ラブリー チーフ・コネクティビティ・統合報告オフィサー(就任後初)等であった。

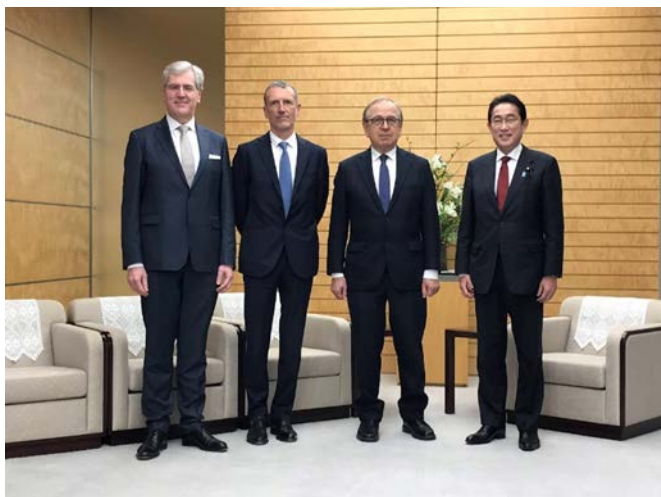
3. 評議員会議

3月1日から3日にかけて、コンラッド東京で評議員会が開催され、財団の戦略、運営、人事、財源等に関する議論が行われた。このうち[デュープロセス監督委員会のセッション](#)は公開で開催され、オンラインで配信された。

4. モニタリング・ボードとの合同会議

3月3日、評議員会とIFRS 財団モニタリング・ボードとの合同会議が開催された。前日に開催されたモニタリング・ボードの会合において、ジャン・ポール・セルベ議長の後任として、金融庁の[長岡隆審議官](#)がモニタリング・ボード議長に選出された。

5. 岸田首相との面談



3月2日、リーカナン評議員会議長、バーコウ IASB 議長、ファベール ISSB 議長、ホワイト事務局長、鈴木 IASB 理事、小森 ISSB 理事が首相官邸を訪問し、[岸田文雄首相と面談](#)した。金融庁からは、中島淳一長官、井藤英樹企画市場局長、井上俊剛審議官が同席した。

6. 西村経済産業大臣との面談

3月1日、ファベール ISSB 議長は、ロイド ISSB 副議長、小森 ISSB 理事とともに[西村康稔経済産業大臣と面談](#)した。経済産業省からは、蓮井智哉審議官、長宗豊和企業会計室長、梶川文博環境経済室長らが同席した。面談では、全般的開示要求(S1)基準、気候関連開示(S2)基準の最終化、ファイナンスド・エミッション等について意見交換が行われた。

7. 金融庁長官との面談

2月28日、バーコウ IASB 議長は、メゾンハッターIASB 副議長、鈴木 IASB 理事、シャーIASB エグゼクティブ・テクニカル・ディレクターとともに中島長官以下金融庁幹部と面談し、「企業結合-開示、のれん及び減損」、「基本財務諸表」等に関して意見交換した。3月1日、ファベール ISSB 議長は、小森 ISSB 理事とともに中島長官以下金融庁幹部と面談し、S1、S2 基準、人的資本、アジェンダ・コンサルテーション等に関して意見交換した。

8. FASF 主催ステークホルダー・イベント



3月2日、財務会計基準機構(FASF)主催、IFRS 財団共催によるステークホルダー・イベントが開催され、IFRS 財団関係者、国内の会計・サステナビリティ分野の関係者約130名が参加した。イベントでは、リーカネン評議員会議長、鈴木金融担当大臣、平野信行日本経済団体連合会副会長、田代桂子 IFRS 財団評議員、林田英治 FASF 理事長が登壇し、講演した。イベントに先立ち、鈴木大臣は、リーカネン議長、ファベール議長と個別に面談した。

9. FASF との覚書(MoU)の締結

3月1日、IFRS 財団のリーカネン評議員会議長と FASF の林田理事長は、[MoU に調印](#)し、記者会見を開いた。記者会見には、河野正道評議員、田代評議員、ホワイト事務局長及び筆者も同席した。本 MoU は、IFRS 財団及び IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスに対する FASF からの長期的な財政上のコミットメントを5年間延長する内容となっている。

10. 企業会計基準委員会(ASBJ)との面談



2月27日、バーコウ IASB 議長、メゾンハッターIASB 副議長、鈴木 IASB 理事、シャーIASB エグゼクティブ・テクニカル・ディレクターは、ASBJ を訪問し、[川西安喜 ASBJ 委員長ほかと面談](#)し、「企業結合-開示、のれん及び減損」、「基本財務諸表」、「国際的な税制改革」等について意見交換した。

11. サステナビリティ基準委員会(SSBJ)との面談



3月1日、ファベール ISSB 議長、ロイド ISSB 副議長、小森 ISSB 理事、テヨン・パク ISSB 理事は、SSBJ を訪問し、[川西安喜 SSBJ 委員長ほかと面談](#)し、ISSB、SSBJ 双方の活動について意見交換した。この中で、川西委員長は、日本版 S1、S2 基準を ISSB の S1、S2 基準と整合させる方針であること、

その公開草案の公表時期・最終基準の公表時期をそれぞれ 2024 年 3 月、2025 年 3 月とする予定であることを表明した。

12. 経団連企業会計部会との面談



2月27日、バーコウ IASB 議長、メゾンハッターIASB 副議長、鈴木 IASB 理事、シャーIASB エグゼクティブ・テクニカル・ディレクターは、経団連を訪問し、[企業会計部会](#)（佐々木啓吾部会長）に出席した。バーコウ議長は、「企業結合-開示、のれん及び減損」、「基本財務諸表」、「国際的な税制改革」等について講演し、出席企業と意見交換した。

13. 日本企業トップとの面談

3月3日、ファベール ISSB 議長、ロイド ISSB 副議長、小森 ISSB 理事、鈴木 IASB 理事は、日本を代表する企業数社のトップとのラウンドテーブルを開催し、基準設定の基本方針、サステナビリティ報告における各社の課題、ステークホルダーからの反応等について意見交換した。

14. 日本公認会計士協会との面談



2月27日、ホワイト事務局長は、日本公認会計士協会（JICPA）幹部、大手監査法人幹部と面談し、IFRS 財団への協力、IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスの活動、サステナビリティ報告に関する保証等について意見交換した。2月28日、バーコウ IASB 議長、メゾンハッターIASB 副議長、鈴木 IASB 理事、シャーIASB エグゼクティブ・テクニカル・ディレクターは、同日開催された JICPA 主催の IASB セミナーに先立ち、茂木哲也 JICPA 会長、佐藤久史 JICPA 専務理事ほか同セミナー登壇者と面談し、IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスへの期待等について意見交換した。3月1日、ロイド ISSB 副議長、小森 ISSB 理

事、パク ISSB 理事は、JICPA 幹部と面談し、サステナビリティ開示に対する保証、S1、S2 基準の最終化、業種別基準等について意見交換した。

15. 日本証券アナリスト協会との面談

3月1日、バーコウ IASB 議長、メゾンハッターIASB 副議長、鈴木 IASB 理事は、日本証券アナリスト協会を訪問し、[神津多可思専務理事ほか同協会幹部と面談](#)し、「企業結合-開示、のれん及び減損」、「基本財務諸表」、IASB と ISSB の協働等について意見交換した。

16. デジタル報告に関する金融庁との面談

2月28日、鈴木 IASB 理事、小森 ISSB 理事、シャーIASB エグゼクティブ・テクニカル・ディレクター、笹井大祐 IFRS 財団 ITCG 委員は、金融庁を訪問し、井上審議官ほか電子開示を所管する金融庁幹部と面談した。IFRS 財団側からは、デジタル開示に対する財団の取り組みを報告するとともに、金融庁に対して、IFRS 財団が設定する IFRS 会計基準タクソノミ、IFRS サステナビリティ基準タクソノミの(再)導入について検討を依頼した。

17. IASB セミナー



2月28日、JICPA 主催、FASF 共催による [IASB セミナー](#) が大手町プレイス・カンファレンスセンターで開催され、オンラインを含めて国内外から約 900 名が参加した。IFRS 財団からは、バーコウ IASB 議長、メゾンハッターIASB 副議長、鈴木 IASB 理事が登壇し、講演した。3名は、のれんの会計処理、暗号資産をテーマとするパネルディスカッションにも参加し、意見交換を行った。

18. サステナビリティ開示に係る国際カンファレンス



3月3日、金融庁主催、IFRS 財団共催による[サステナビリティ開示に係る国際カンファレンス](#)が大手町フィナンシャルシティ・カンファレンスセンターで開催された。岸田首相(ビデオ出演)による開会挨拶のあと、IFRS 財団からは、リーカネン評議員会議長、ファベール ISSB 議長、田代評議員が登壇した。また、サステナビリティ開示のフレームワークの発展に向けて及び次の基準開発アジェンダへの期待をテーマとして、パネルディスカッションが行われた。

19. 統合報告に関する会合

IFRS 財団のラブリー チーフ・コネクティビティ・統合報告オフィサーは、2月27日から3月3日にかけて、統合報告に関連する国内の関係団体を訪問し、統合報告に関する意見交換を行った。

20. おわりに

今回の来日で、バーコウ IASB 議長は、のれんの会計処理、基本財務諸表、国際的な税制改正等に関する IASB の対応をていねいに説明した。ファベール ISSB 議長は、S1、S2 基準の最終化、人的資本を含む次の基準開発アジェンダについて関係団体と意見交換を重ねた。また、一連のイベント・会合では、東京の IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスに対する一層の期待が寄せられた。同オフィスは、昨年以來、ISSB 所属のスタッフ、小森 ISSB 理事、パク ISSB 理事を迎え、業容を拡大しつつあるが、今後も引き続き IFRS 財団、国内及びアジア・オセアニア地域全体のステークホルダーのために、より大きな役割を担っていきたい。

以 上